

## 2026年医学アカデミー—歯科衛生士学科

1学年	科目 <b>命科学と医の倫</b>	単位・時間数 <b>3単位・48時間</b>
	講師 <b>伊澤 祐輔</b>	担当教員 <b>吉本・富田</b>

### I 教育目標

歯科衛生士になるために、保健・医療・福祉に携わる意義について確認し、化学・生物・倫理を学ぶことにより、専門科目の学習の基礎を固める。

### II 到達目標

- ①高校で学ぶ化学や生物を基本として、歯科衛生士の専門知識を学ぶための化学や生物の基礎知識を習得する。
- ②生命の尊厳を理解し、医療従事者としての倫理観に基づいた考え方や態度を身につける。

### III 学習内容(シラバス)

1、2	【化学①】物質(物質の構造、原子の電子配置、物質量、化学結合)
3、4	【化学②】気体(気体を使う)、濃度(水溶液の濃さの表し方)、束一性(希薄水溶液の示す不思議な性質)、コロイド(身のまわりにはコロイドがいっぱい)
5、6	【化学③】酸塩基(酸とアルカリの水溶液)＋酸化還元(酸化と還元)
7、8	【化学④】有機化合物(有機化合物の成り立ち、有機化合物に名前をつける、同じ原子から違った構造が、有機化合物の反応、代表的な化合物と性質)
9、10	【化学⑤】生体成分(糖質、アミノ酸とタンパク質、脂質、核酸と核酸関連物質)
11、12	【生物①】細胞(生命の単位、細胞内には細胞小器官がある、細胞のさまざまな活動)、組織器官(ヒトの組織は大きく分けて4種類ある、ヒトの器官)
13、14	【生物②】細胞分裂(生殖の方法、減数分裂)、遺伝(遺伝とその法則、生命をつくる仕組み、遺伝子を働かせる仕組み)
15、16	【生物③】神経(動物は感覚器でさまざまな刺激を受容する、神経系による刺激の伝達、中枢神経と末梢神経)
17、18	【生物④】体内環境(多細胞生物のからだは体液で満たされている、ホルモンとその働き、自律神経とホルモンの協調作用、生体防御)
19、20	【倫理①】医療倫理(伝統的な医の倫理から新しい医の倫理へ、医療従事者の基本的義務、患者中心の医療、歯科医療に関する権利と義務、および歯科衛生士の社会的使命)、医療に関する規範(医の倫理に関する規範および国際規範)
21、22	【倫理②】バイオエシックス(バイオエシックス(生命倫理学)、バイオエシックスに関わる問題、臨床倫理学)
23、24	【倫理③】インフォームド・コンセント(インフォームド・コンセント(IC)とは何か、ICの実際、ICと患者中心の医療)、歯科医療従事者に必要なこと(行動、個人情報など)

### IV 成績評価

レポート提出 終講試験

### V 教科書

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修

- ・生物学
- ・化学
- ・歯科医療倫理学

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 情報科学

単位・時間数 1単位・16時間

講師 土屋 稔

担当教員 吉本・富田

## I 教育目標

情報の取り扱い(情報化社会、個人情報保護、守秘義務等)、基本的なパソコン操作(文書ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト等)について習得する。

プレゼンテーションの手法について学習する。

## II 到達目標

情報の取り扱いの注意点について説明できる。

上記のソフトを使用して、基本的な書類を作成できる。

簡単なプレゼンテーションが実践できる。

## III 学習内容(シラバス)

1	「情報」とは: 個人情報の取り扱い、守秘義務について、情報リテラシー(情報機器、ITネットワークの活用)、情報社会のモラルとセキュリティ
2	パソコンの仕組みと選び方: OSとは、パソコンの仕様について 電子メールの仕組みと設定、ファイル印刷の方法(PDF印刷、Webプリントなど)
3	文献とは: 文献検索の方法、Webを活用した薬の調べ方 パソコンの基本的操作(フォルダ管理、Officeソフトの活用、便利なショートカットキー)
4	文書・レポートの作成方法①: 文書作成ソフト(Microsoft Word)の使用方法 (ページ設定、ドキュメントの保存、文字入力と編集、レイアウト編集、画像の挿入・編集など)
5	文書・レポートの作成方法②: 文書作成ソフト(Microsoft Word)の使用方法 (図形の挿入、表の挿入、ページ番号挿入、段組み設定など)
6	データのまとめ方①: 表計算ソフト(Microsoft Excel)の使用方法、関数の使い方 (文字入力、セルの書式設定: 表示形式、罫線、塗りつぶし、計算式の入力など)
7	データのまとめ方②: 表計算ソフト(Microsoft Excel)の使用方法、関数の使い方 (関数、データの並べ替えとフィルタ、ページレイアウト: 印刷設定)
8	プレゼンテーション資料の作成と方法: プレゼンテーションソフト(Microsoft PowerPoint)の使用方法 (スライドデザインの設定、文字入力、画像の挿入・編集、アニメーション設定、ノート機能など)

## IV 成績評価

課題レポートにより評価する。

## V 教科書

配布プリント

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 心理学

単位・時間数 1単位・16時間

講師 大井京子

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

心理の基礎、発達過程における心理面の変化について学習する

### II 到達目標

心理の基礎、発達過程における心理面の変化について説明できる

### III 学習内容(シラバス)

1	感覚と知覚
2	記憶と学習のメカニズム
3	欲求とパーソナリティ、ストレスの対処法
4	思考と問題解決
5	発達
6	精神科の治療①
7	精神科の治療②
8	心理学の歩みと研究

### IV 成績評価

課題レポートにより評価する

### V 教科書

歯科衛生学シリーズ 心理学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 保健体育 I

単位・時間数 1単位・16時間

講師 峯 一樹・伊藤

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

グループ活動の実践を通して、心身の健康、計画性、主体的な行動、グループとしての連帯性について学習する

### II 到達目標

グループ活動を実施し、グループのメンバーと連帯して行動できる

### III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション
2	校外学習に向けての準備
3	校外学習に向けての準備
4	校外学習に向けての準備
5	校外学習
6	校外学習
7	校外学習
8	郊外学習

### IV 成績評価

出席状況、受講態度等を総合的に判断して評価する。

### V 教科書

必要に応じて資料配布をする。

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯科英語

単位・時間数 1単位・8時間

講師 長浦舞由

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

歯科衛生士が患者との信頼関係に基づく医療サービスを提供するため、および歯科医師やほかの医療職種の人たちと円滑な人間関係を保つために必要な英語表現を学習する。

### II 到達目標

歯科衛生士が患者との信頼関係に基づく医療サービスを提供するため、および歯科医師やほかの医療職種の人たちと円滑な人間関係を保つために必要な英語表現を修得する。

### III 学習内容(シラバス)

1	Making an Appointment by Telephone
2	Request for Medicine
3	Emergency Appointments
4	National Health Insurance
5	Asking the Patient to Describe Symptoms
6	Asking the Medical History
7	Periodontal Disease Part I
8	Periodontal Disease Part II

### IV 成績評価

課題レポートにより評価する

### V 教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科英語(医歯薬出版株式会社)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 解剖学

単位・時間数 2単位・32時間

講師 富田美穂子

担当教員 富田

### I 教育目標

人体の成り立ちを理解するために、体の構造と機能の基本的知識について習得する

### II 到達目標

正常な形態、構造、機能を説明できる。  
人体を構成する器官の名称を説明できる。  
各器官のメカニズムを説明できる。

\* 歯科医師として10年以上歯科治療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	解剖学総論・人体の構成と区分・基本的な組織構造
2	骨の形による分類・骨の構造
3	頭蓋骨・上肢骨・下肢骨
4	筋の構造・頭部の筋
5	全身の筋と運動ニューロン
6	消化器の構造・頭部
7	小腸の構造と運動
8	血管の構造
9	血液の成分・血液型
10	心臓の構造と機能
11	動脈系・静脈系
12	体性感覚
13	特殊感覚の構造と機能
14	まとめ①
15	まとめ②
16	まとめ③

### IV 成績評価

授業態度と定期テストの点数で総合的に判断する。

### V 教科書

人の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 生理学

単位・時間数 2単位・32時間

講師 藤田大介

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

人体の成り立ちを理解するために、体の構造と機能に関する基本的知識について習得する

### II 到達目標

正常な形態、構造、発生を説明できる。

人体を構成する10器官について説明ができる。

### III 学習内容(シラバス)

1	細胞と組織①:細胞の構造と機能、細胞分裂
2	細胞と組織②:上皮組織と支持組織
3	発生①:染色体、減数分裂、
4	発生②:精子と卵子の発生、胚葉の形成
5	神経系①:神経系の基本構造(神経細胞、神経細胞の興奮と伝道)
6	神経系②:中枢神経系
7	神経系③:末梢神経系
8	神経系④:神経系の主な伝導路
9	呼吸①:呼吸器系の構成
10	呼吸②:胸郭の構造と換気の仕組み
11	腎機能と排尿①:腎臓の働き
12	腎機能と排尿②:尿の生成、排尿の仕組み
13	内分泌①:内分泌器官とホルモン
14	内分泌②:ホルモンの作用機序
15	生殖、体温
16	まとめ

### IV 成績評価

授業態度と定期テストの点数で総合的に判断する。

### V 教科書

人の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年
-----

科目	生化学(栄養学)
----	----------

単位・時間数	8日間
--------	-----

講師	大内邦弘
----	------

担当教員	吉本・富田
------	-------

### I 教育目標

ヒトのからだを構成している物質を学び、食物から摂取した栄養素をどのように利用しているかを理解する。 歯・唾液・プラーク(歯垢)の特徴を生化学的に学ぶ。
--

### II 到達目標

栄養素が体内で変化することを分子レベルで説明できる。 歯・唾液・プラークの特徴を説明できる。
---

### III 学習内容(シラバス)

1	人体の構成要素、人体における化学反応
2	糖質・脂質・タンパク質の代謝、遺伝子とタンパク質合成
3	歯と歯周組織の生化学、硬組織の生化学
4	唾液の生化学、プラークの生化学
5	栄養素の種類とはたらき
6	栄養素の消化・吸収、健康と栄養
7	食事と食品
8	ライフステージと栄養

### IV 成績評価

レポート提出 終講試験
-------------

### V 教科書

生化学・口腔生化学(人体の構造と機能2)、栄養学(人体の構造と機能3)
-------------------------------------

# 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 口腔解剖学

単位・時間数 2単位・32時間

講師 片桐和人

担当教員 吉本・富田

## I 教育目標

骨・血管・神経・筋肉をそれぞれ関連づけて模型とCGを使用して3次的に理解できるようにします。

## II 到達目標

口腔の形態や構造を理解して、各組織の名称、機能的な関連性を学び、歯科臨床の基礎となる解剖学的知識を習得することを目標とします。

\* 歯科医師として10年以上歯科治療に従事している担当教員による授業。

## III 学習内容(シラバス)

1	口腔とその周囲の解剖学 ①口腔とは
2	1. 口腔とその周囲の表面 2. 口腔前提 3. 固有口腔
3	②口腔を構成する骨 1. 頭蓋を構成する骨 1)頭蓋の前面 2)顔面部 3)頭蓋の後面
4	4)頭蓋の側面 5)頭蓋の下面 6)頭蓋の内面
5	2. 口腔を構成する骨
6	③頭蓋部の筋と作用 1. 顔面筋 2. 咀嚼筋 3. 舌筋
7	4. 頸部の筋 5. 顎下三角とオトガイ下三角 6. 翼突下顎隙と翼突下顎縫線
8	④顎関節
9	⑤口腔周囲の脈管 1. 動脈系 1)総頸動脈 2)外頸動脈～7)浅側頭動脈
10	8)顎動脈～内径動脈 2. 静脈系 3. リンパ系
11	⑥神経 1. 三叉神経
12	2. 顔面神経 3. 舌咽神経 4. 迷走神経
13	5. 舌下神経 6. 頭頸部に分布する脊髄神経
14	⑦唾液腺
15	⑧咽頭と喉頭の構造 1. 咽頭
16	2. 喉頭

## IV 成績評価

定期テスト

## V 教科書

口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯牙解剖学

単位・時間数 1単位・16時間

講師 片桐和人

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

歯の特徴のポイントと鑑別を永久歯と乳歯について模型とCGを使い理解し、歯と顔面の発生を一連として理解できるようにします。

### II 到達目標

永久歯と乳歯の歯の形態を歯種別に説明でき、歯の形態以上について理解する。歯や顎顔面がどのように作られるか、永久歯の構成要素機能について説明でき、唇顎口蓋裂の成り立ちを理解する。  
\* 歯科医師として10年以上歯科治療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	2章 歯の形態 ①歯の解剖学総論
2	②永久歯
3	③乳歯
4	④歯の異常 ⑤歯別と咬合
5	3章 歯及び歯周組織の構造 ①エナメル質 ②象牙質歯髄複合体
6	③セメント質 ④歯根膜 ⑤歯槽骨 ⑥死肉
7	歯および歯周組織の発生 1章 顔面と口腔の発生
8	2章 歯と歯周組織の発生

### IV 成績評価

定期テスト

### V 教科書

口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 口腔生理学

単位・時間数 1単位・16時間

講師 片桐和人

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

口腔機能のメカニズムや神経伝達経路や筋の動き、唾液の分泌などのCGを使い一連の流れとして三次元的に理解できるようにします。

### II 到達目標

口腔顔面領域の感覚神経機構を理解できるようにし、咀嚼嚥下、歯痛、顎関節、発声、感覚などのメカニズムを理解し、唾液の役割、分泌機構を説明できるようにする。  
\* 歯科医師として10年以上歯科治療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	1章 歯・口腔・顔面の感覚
2	2章 味覚と嗅覚
3	3章 咬合と咀嚼・吸啜 ①下顎位 ②下顎の運動 ③顎反射
4	④摂食行動 ⑤咀嚼能力 ⑥吸啜
5	4章 嚥下と嘔吐 ①嚥下
6	②嘔吐
7	5章 発生 発語
8	6章 唾液

### IV 成績評価

定期テスト

### V 教科書

口腔解剖学・口腔組織発生顎・口腔生理学(医歯薬出版)

2025年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 病理学

単位・時間数 1単位・16時間

講師 岡崎達也

担当教員 吉本・富田

I 教育目標

病因と病態についての知識を習得する

II 到達目標

病因と病態についての説明ができる

III 学習内容(シラバス)

1	病理学序論と病因論
2	遺伝性疾患と奇形
3	循環障害
4	代謝障害と退行性病変
5	増殖と修復
6	炎症と芽根季応答異常
7	腫瘍
8	まとめ

IV 成績評価

試験により評価

V 教科書

病理学・口腔病理学(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2025年医学アカデミー—歯科衛生士学科

1学年

科目 口腔病理学

単位・時間数 1単位・16時間

講師 岡崎達也

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

口腔領域の先天異常についての知識を習得する。

### II 到達目標

口腔領域の様々な疾患の基礎を学び、臨床歯科医学の説明ができる。

### III 学習内容(シ)

1	歯の発育異常
2	歯の損傷と着色・付着物
3	う蝕 象牙質・歯髄複合体の病態
4	死守組織の病態 口腔粘膜の病変
5	口腔領域mの嚢胞と腫瘍 口腔癌
6	顎骨の病変 唾液腺の病変
7	口腔領域の奇形
8	まとめ

### IV 成績評価

レポート課題により評価する

### V 教科書

病理学・口腔病理学(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年	科目	微生物学	単位・時間	2単位・32時間
	講師	中村 颯	担当教員	吉本・富田

### I 教育目標

微生物学とは、微生物(細菌、真菌、ウイルスなど)がどのようにして人に感染し、感染症を起こすのかという「感染症の成り立ち」を明らかにし、病原微生物に対する防衛機構を明らかにする学問である。歯科衛生士にとって必要な知識である微生物と免疫について学ぶことを通して、全身の感染症の成り立ちについて理解する。また、口腔に常在する微生物と口腔疾患について学ぶとともに、感染予防についての基礎的な知識を修得する。

### II 到達目標

種々の微生物の性質を理解し、感染症と感染予防についての基礎的な知識を修得する。

### III 学習内容(シラバス)

1	疾病と微生物 感染と感染症 ・微生物の概要 ・感染とは
2	微生物の病原性1 1) 微生物の位置づけ ・微生物総論(細菌・ウイルス・真菌)
3	微生物の病原性2 2) 主な病原性細菌 ・グラム陽性桿菌 ・グラム陽性球菌 ・グラム陰性球菌 ・グラム陰性桿菌
4	微生物の病原性3 3) マイコプラズマ属、4) スピロヘータ、5) リケッチア、6) クラミジア
5	微生物の病原性4 7) ウイルス、8) その他の微生物(真菌、原虫) ・ウイルスの構造と分類 ・代表的なウイルスの特徴 ・代表的な真菌の特徴 ・原虫と寄生虫
6	宿主防御機構と免疫1 1) 宿主防御機構 ①非特異的防御機構 ・免疫の仕組み ・自然免疫
7	宿主防御機構と免疫2 1) 宿主防御機構 ②特異的防御機構 ・獲得免疫 ・抗原提示
8	宿主防御機構と免疫3 2) 免疫機構 ・免疫機構全体の概要(自然免疫と獲得免疫)
9	宿主防御機構と免疫4 3) 液性免疫 ・B細胞と抗体
10	宿主防御機構と免疫5 4) 細胞性免疫 ・細胞性免疫機構 ・ワクチン(能動免疫)
11	宿主防御機構と免疫6 5) アレルギー(過敏症) ・アレルギーの分類 ・発症機構及び代表例
12	口腔微生物学1 1) 口腔細菌叢及び代表例 ・口腔内環境と常在微生物 ・代表的な口腔内微生物
13	口腔微生物学2 2) デンタルプラーク ・プラークの形成と成熟 ・プラークの病原性 ・バイオフィルムと感染症
14	口腔感染症1 1) う蝕 ・う蝕の発症機序 ・う蝕原性細菌と病原因子
15	口腔感染症2 2) 歯周病 ・歯周病の分類と疫学 ・歯周病原性細菌と病原因子
16	第1回から第15回までの総復習

### IV 成績評価

終講試験

### V 教科書

『疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学』一般社団法人全国歯科衛生士教育協会監修、医歯薬出版株式会社

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 保健生態学

単位・時間数 3単位・48時間

講師 菊池聡

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

- ・我が国の生活環境や社会構造およびその動向について学び、保健対策の考え方を理解する。
- ・口腔疾患の予防と口腔健康維持・増進に必要な基本的知識と技法について修得し、口腔保健活動の基盤となる法律・組織について必要な知識を身につける。
- ・健康に関わる地域保険の組織を理解し、個人に合わせた保健対策を理解する。

### II 到達目標

- ・疾病構造ならびに人口構造の変化と公衆衛生活動の変遷を関連付けて説明できる。
- ・環境因子が健康に及ぼす影響を説明できる。
- ・疫学の目的を理解し、疫学研究の種類特徴を理解し、分類できる。
- ・感染症の動向を把握し予防法を理解できる
- ・食と健康の関りを理解できる
- ・歯・口腔の構造や機能を理解し、口腔清掃のための用具と手法を区別できる
- ・う蝕の予防のメカニズムを理解し、フッ化物によるう蝕予防の方法を理解できる
- ・歯周疾患やその他の疾患の予防方法を理解できる
- ・地域保健・公衆衛生のシステムを理解し、具体的な地域保健活動の進め方を理解できる
- ・様々な人々(母子、学校、成人、産業、高齢者など)に合わせた保健について、意義・概要・制度・保健活動などを理解できる
- ・災害時の医療対策を理解し、歯科衛生士の役割を理解できる

### III 学習内容(シラバス)

1	保健学総論、予防の水準、疫学①(疫学の定義・概要)
2	疫学②(研究方法)
3	人口統計①(人口静態、生命表)
4	人口統計②(人口動態)
5	環境と健康①(保健と環境、空気)
6	環境と健康②(水・放射線、住居・衣服)
7	環境と健康③(地球環境)
8	環境保全(公害)
9	感染症①(基本概念、問題点、対策)
10	感染症②(感染症の動向)
11	食と健康①(食品保健、食中毒)
12	食と健康②(安全性確保、栄養と健康)
13	歯・口腔の健康と予防(総論①)
14	歯・口腔の健康と予防(総論②)、歯科疾患の疫学
15	口腔清掃
16	う蝕の予防
17	フッ化物によるう蝕予防①
18	フッ化物によるう蝕予防②、歯周疾患の予防
19	その他の疾患・異常の予防
20	地域保健・公衆衛生
21	母子保健
22	学校保健、成人保健
23	産業保健、高齢者保健
24	精神保健、災害時の歯科保健、国際保健

### IV 成績評価

レポート提出 終講試験

### V 教科書

保健生態学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 保険・医療・福祉の制度

単位・時間数 1単位・16時間

講師 富田美穂子

担当教員 富田

### I 教育目標

社会保険制度の種類と歴史、医療・福祉と歯科医療の関係、地域包括ケアシステム、多職種連携について学習する

### II 到達目標

社会保険制度の種類と歴史、医療・保健・福祉と歯科医療の関係、地域包括ケアシステム、多職種連携について説明ができる。

\* 歯科医師として10年以上歯科治療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	保険・医療・福祉とは
2	医療法
3	歯科医師法・歯科衛生士法・歯科技工士法
4	歯科医療とかわる職種の法律
5	地域包括ケアシステム
6	その他の関連法規
7	社会保障制度
8	医療の動向

### IV 成績評価

試験の成績にて評価する。

### V 教科書

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保険・医療・福祉の制度(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯科衛生士総論

単位・時間数 1単位・16時間

講師 吉本明子

担当教員 吉本明子

### I 教育目標

歯科衛生士として必要な医療・保健・福祉の知識をみにつけ医療者としての態度や倫理観を習得する。

### II 到達目標

歯科衛生士の職業を理解し、業務の責務を説明できる。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	歯科衛生士の歴史・予防の概念
2	考察・レポートの書き方
3	歯科衛生士学とは
4	歯科衛生士の歴史・予防の概念
5	歯科衛生活動のための理論
6	歯科衛生課程
7	歯科衛生課程演習
8	まとめ

### IV 成績評価

定期テスト 小テスト

### V 教科書

歯科衛生士学総論 歯科衛生学シリーズ用語集 (医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯周病学

単位・時間数 2単位・32時間

講師 清水 学

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

歯周病についての正しい知識を持ち、技術を身につけ、歯科衛生士としての業務、役割を学ぶこと。

### II 到達目標

歯周病についての正しい知識を持って、説明できるようになること。  
\* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	歯周病概論
2	正常な歯周組織
3	歯周病の原因
4	歯周病の分類
5	歯周治療の進め方
6	歯周病の検査①
7	歯周病の検査②
8	歯周基本治療①
9	歯周基本治療②
10	歯周外科治療①
11	口腔機能回復治療
12	メンテナンス
13	歯周治療の重要ポイント振り返り①
14	歯周治療の重要ポイント振り返り②
15	歯周治療の重要ポイント振り返り③
16	まとめ

### IV 成績評価

復習小テスト 定期テスト

### V 教科書

歯周病学 医歯薬出版株式会社

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 保存修復学

単位・時間数 1単位・16時間

講師 山本達也

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

保存修復学の概念ならびに基礎的事項を身につけ、臨床で求められる知識や施術法を習得する

### II 到達目標

・歯の硬組織疾患の特徴について説明ができる ・歯冠修復時の前準備について説明できる ・各種修復方法について説明できる。

\*歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	硬組織疾患と窩洞について
2	保存修復治療の概要
3	コンポジットレジン修復
4	セメント修復
5	インレー修復
6	合着材および接着材
7	歯の漂白および補修修復
8	まとめ

### IV 成績評価

学力試験により評価する

### V 教科書

保存修復学・歯内療法学（医歯薬出版）

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯内療法学

単位・時間数 1単位・16時間

講師 山本達也

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

歯内療法学を理解するために必要な基礎的事項、臨床で求められる知識や治療法を習得する

### II 到達目標

・歯科衛生士業務における歯内療法の役割について説明ができる ・歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療法について説明できる ・歯内療法を実施するにあたり必要な器材、薬剤について説明できる。  
\*歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	歯内療法の概要
2	歯髄保存療法
3	歯髄除去療法
4	根管治療
5	根管充填
6	外科的歯内療法
7	歯の外傷、歯内療法における安全対策
8	まとめ

### IV 成績評価

学力試験により評価する

### V 教科書

保存修復学・歯内療法学（医歯薬出版）

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯科補綴学

単位・時間数 1単位 16時間

講師 大場 優

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

歯科補綴を学習する意図を理解する。国家試験のための勉強と実際の臨床の違いを理解する。

### II 到達目標

- ・補綴の種類、技工、臨床ステップを理解する
- ・歯科衛生士に必要とされる歯科補綴治療の知識を理解する
- \* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	歯科補綴の概要とポイント
2	歯科補綴治療の基礎知識
3	補綴治療における検査
4	クラウン、ブリッジ治療
5	有床義歯治療
6	インプラント治療
7	特殊な口腔内装置、器材の管理
8	総論、国家試験対策

### IV 成績評価

定期試験、出席状況、授業態度を総合的に評価する

### V 教科書

歯科補綴学(医歯薬出版株式会社)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯科矯正学

単位・時間数 1単位 16時間

講師 栄田 良一

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

歯列不正の分類・検査・診断および治療法についての知識を習得する

### II 到達目標

歯列不正の分類・検査・診断および治療法についての知識を説明できる  
\* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	矯正歯科の基礎と国家試験の全体像
2	不正咬合の分類
3	不正咬合の原因
4	成長発育と矯正治療介入時期
5	矯正装置①(可撤式・機能的装置)
6	矯正装置②(固定式装置)
7	矯正治療中の管理と衛生士の役割
8	総まとめ・国家試験対策演習

### IV 成績評価

修講試験・小テスト・出席状況で総合的に判断する

### V 教科書

歯科矯正学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科(共通)

1学年

科目 歯科予防処置論 I

単位・時間数 1単位・16時間

講師 吉本明子

担当教員 吉本

### I 教育目標

歯科予防処置論に必要な知識および技術を習得する。

### II 到達目標

歯科予防処置論の定義を説明し、それに必要な基礎知識を習得する。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	総論・法的位置づけ・予防の概念・歯科予防処置の内容
2	口腔の基礎知識
3	歯科衛生士介入としての歯科予防処置①
4	歯科衛生士介入としての歯科予防処置②
5	歯科衛生士介入としての歯科予防処置③
6	歯科衛生士介入としての歯科予防処置④
7	歯科衛生士介入としての歯科予防処置⑤
8	まとめ

### IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科(共通)

1学年

科目 歯科予防処置論Ⅱ

単位・時間数 1単位・16時間

講師 吉本明子

担当教員 吉本

### I 教育目標

歯科予防処置論に必要な知識および技術を習得する。

### II 到達目標

口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的知識、技術及び態度を習得する。

\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	患者ガイダンス①
2	患者ガイダンス②
3	偶発事故
4	口腔内観察①
5	口腔内観察②
6	相互実習ガイダンス
7	歯面研磨
8	洗浄・貼葉・防湿・まとめ

### IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題、出席率

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科(共通)

1学年

科目 歯科予防処置演習 I

単位・時間数 2単位・64時間

講師 吉本明子

担当教員 吉本

### I 教育目標

歯科予防処置論に必要な知識および技術を習得する。

### II 到達目標

基本的な操作方法、マネキンや相互実習にて器具の操作方法を学び予防的歯石除去を習得する。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	身だしなみ、マネキン①	17	マネキン⑩縁下テスト
2	マネキン②	18	口腔内観察①
3	マネキン③	19	口腔内観察②
4	マネキン④	20	プロービング
5	マネキン⑤	21	エクスプローリング
6	マネキン⑥	22	拡大鏡
7	マネキン⑦	23	拡大鏡
8	マネキン⑧縁上テスト	24	歯面研磨②
9	マネキン⑨	25	歯面研磨②
10	マネキン⑩	26	相互スケーリング(基礎)
11	マネキン⑪	27	相互スケーリング(前歯)
12	マネキン⑫	28	相互スケーリング(上顎臼歯)
13	マネキン⑬	29	相互スケーリング(下顎臼歯)
14	マネキン⑭	30	相互スケーリング(振り返り)
15	マネキン⑮	31	実技試験(歯面研磨)
16	マネキン⑯縁下テスト	32	実技試験(歯面研磨)

### IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題 実技試験 出席率 提出物

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯科保健指導 I

単位・時間数 1単位・16時間

講師 遠藤 美香沙

担当教員 遠藤

### I 教育目標

歯科衛生士として保健指導を実施するのに必要な知識を身に着ける。

### II 到達目標

口腔衛生管理の具体的な方法や使用する用具、口腔の状態を数値化する方法を学ぶ。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	歯科保健指導総論①
2	歯科保健指導総論②
3	ブラッシング法
4	補助的清掃用具①
5	指数①
6	指数②
7	指数③
8	まとめ

### IV 成績評価

定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯科保健指導Ⅱ

単位・時間数 1単位・16時間

講師 遠藤 美香沙

担当教員 遠藤

### I 教育目標

歯科衛生士として保健指導を実施するのに必要な知識を身に着ける。

### II 到達目標

口腔衛生管理の具体的な方法や使用する用具、口腔の状態を数値化する方法を学ぶ。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(妊産期)①
2	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(妊産期)②
3	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(乳幼児期)①
4	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(乳幼児期)②
5	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(学齢期)①
6	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(学齢期)②
7	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(青年期)①
8	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(青年期)②

### IV 成績評価

定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 歯科保健指導演習 I

単位・時間数 1単位・32時間

講師 遠藤美香沙

担当教員 遠藤

### I 教育目標

歯科衛生士として保健指導を実施するのに必要な知識を身に着ける。

### II 到達目標

口腔衛生管理の具体的な方法や使用する用具、口腔の状態を数値化する方法を学ぶ。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	ブラッシング法①
2	ブラッシング法②
3	補助用具①
4	補助用具②
5	TBI口頭試問①
6	TBI口頭試問②
7	術者磨き①
8	術者磨き②
9	う蝕リスクに対する指導①
10	う蝕リスクに対する指導②
11	喫煙者に対する指導①
12	喫煙者に対する指導②
13	ドライマウスに対する指導①
14	ドライマウスに対する指導②
15	症例検討①
16	症例検討②

### IV 成績評価

実技と定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯科診療補助論 I

単位・時間数 1単位・16時間

講師 塚田邦枝

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

様々なライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関わる基礎的知識、技術及び態度を習得する

### II 到達目標

歯科診療補助が円滑に行われるように歯科治療の流れを理解した上でのアシスタントワークに必要な知識を習得する。

\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	授業ガイダンス
2	歯科診療補助の概要
3	医療安全感染予防
4	診療室の整備・管理①
5	診療室の整備・管理②
6	衛生材料
7	滅菌消毒と予防
8	まとめ

### IV 成績評価

定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科診療補助論

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯科診療補助Ⅱ

単位・時間数 2単位・32時間

講師 塚田邦枝

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

様々なライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関わる基礎的知識、技術及び態度を習得する

### II 到達目標

様々なライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関わる基礎的知識、技術及び態度を習得する。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	共同動作Ⅰ
2	共同動作Ⅱ-①
3	共同動作Ⅱ-②
4	歯科材料総論
5	印象材①
6	印象材②
7	模型材①
8	模型材②
9	主要材料の取り扱い①
10	主要材料の取り扱い②
11	補綴装置と材料①
12	補綴装置と材料②
13	仮封材料、ワックス歯科材料
14	成形歯冠修復材料
15	まとめ
16	まとめ

### IV 成績評価

定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科診療補助論

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 歯科診療補助演習 I

単位・時間数 1単位・32時間

講師 塚田邦枝

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

様々なライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関わる基礎的知識、技術及び態度を習得する

### II 到達目標

様々なライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関わる基礎的知識、技術及び態度を習得する。

\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	共同作業 I -①
2	共同動作 I -②
3	共同動作 II -①
4	共同動作 II -②
5	共同動作 II -③
6	共同動作 II -④
7	歯科材料の取り扱い①
8	歯科材料の取り扱い②
9	印象材①
10	印象材②
11	模型材①
12	模型材②
13	主要材料の取り扱い①
14	主要材料の取り扱い②
15	実技試験
16	実技試験

### IV 成績評価

実技と定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科診療補助論

## 2026年医学アカデミー—歯科衛生士学科

1学年

科目 臨床検査

単位・時間数 1単位・16時間

講師 茂木雄輔

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

各種臨床検査法を概説できる。

### II 到達目標

歯科衛生士として、歯科関連のみならず臨床検査の意義や手法を理解できるようになる

### III 学習内容(シラバス)

1	臨床検査と歯科衛生士の役割、基本的用語について
2	生理機能検査(バイタルサインに関わる基本的な検査)
3	血液学的検査、感染症の検査
4	肝機能の検査、腎機能の検査、糖尿病の検査、免疫・血液学的検査、病理検査
5	放射線概論( $\alpha$ 線、 $\beta$ 線、 $\gamma$ 線、X線)
6	画像診断技術(X線診断、MRI、核医学診断、超音波診断)
7	口腔領域の臨床検査①(う蝕と歯周病検査、口臭、味覚等 各種検査)
8	口腔領域の臨床検査②(う蝕と歯周病検査、口臭、味覚等 各種検査)

### IV 成績評価

課題レポート、修講試験、出席状況等から総合的に判定する

### V 教科書

歯科衛生学シリーズ 臨床検査

一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修/野村武史・升井一朗・高阪利美・畠中能子 編集

## 2026年医学アカデミー—歯科衛生士学科

1学年

科目 特別教養科目

単位・時間数 1単位・16時間

講師

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

社会における共同作業を学ぶ

### II 到達目標

社会人としての共同作業を学ぶ

### III 学習内容(シラバス)

1	保健指導で使用する器具を学ぶ
2	保健指導で使用する器具を学ぶ
3	学祭準備のための共同作業
4	学祭準備のための共同作業
5	学祭
6	学祭
7	学祭
8	学祭

### IV 成績評価

行動を観察して評価する

### V 教科書

--

## 2026年医学アカデミー—歯科衛生士学科

1学年

科目 総合講義 I

単位・時間数 1単位・16時間

講師 吉本・塚田・遠藤

担当教員 吉本・富田

### I 教育目標

歯科衛生士の仕事をマスターする。

### II 到達目標

歯科衛生士の仕事を理解し、実践できる。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	保健指導
2	保健指導
3	診療補助
4	診療補助
5	予防処置
6	予防処置
7	相互学習
8	相互学習

### IV 成績評価

定期テストと実践的な行動で判断する。

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論・歯科診療補助

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

1学年

科目 総合科目 I

単位・時間数 1単位・16時間

講師 富田美穂子

担当教員 富田・吉本

### I 教育目標

基礎科目を総合的に考えられるを習得する。

### II 到達目標

解剖生理学をまとめて説明できる。  
口腔解剖と口腔生理学を総合的に理解する。  
\* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	発生学
2	頭蓋骨
3	神経
4	循環器
5	歯の成り立ち
6	顎運動
7	唾液
8	味覚

### IV 成績評価

授業態度と試験の結果を総合して判定する。

### V 教科書

人の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学(医歯薬出版)  
歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 医療研究 I

単位・時間数 1単位・16時間

講師 富田美穂子

担当教員 富田

### I 教育目標

研究倫理、研究の意義や進め方について習得する

### II 到達目標

研究倫理について説明できる。  
研究の意義や目的を説明できる。  
自分で研究テーマを考えられる。  
\* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	研究倫理
2	研究の意義
3	研究の進め方
4	研究のまとめ方
5	研究発表の仕方
6	テーマを考える
7	研究の実際
8	統計解析

### IV 成績評価

授業態度と定期テストの点数で総合的に判断する。

### V 教科書

歯科衛生研究の進め方 論文の書き方(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 保健体育Ⅱ

単位・時間数 1単位・16時間

講師 遠藤美香沙・他

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

グループ活動の実践を通して、グループとしての連帯性について再学習する

### II 到達目標

グループ活動を実施し、グループのメンバーと連帯して行動できる

### III 学習内容(シラバス)

1	オリエンテーション
2	グループディスカッション
3	グループディスカッション
4	グループディスカッション
5	フィールドワーク
6	フィールドワーク
7	フィールドワーク
8	フィールドワーク

### IV 成績評価

出席状況、受講態度等を総合的に判断して評価する。

### V 教科書

必要に応じて資料配布をする。

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 保健情報統計学

単位・時間数 2単位・32時間

講師 大内邦弘

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

個人および集団の歯・口腔の健康と予防プログラムを構築するために、関連する保健情報を把握し、衛生統計の手法を習得すること。

### II 到達目標

口腔内からの保健情報の収集方法を説明できる。歯科疾患の指標について説明できる。  
保健情報の分析について説明できる。情報の保護と倫理について理解できる。

### III 学習内容(シラバス)

1	保健情報と保健統計(1章-1):保健情報・保健統計とは、保健情報の種類
2	保健情報と保健統計(1章-2):保健情報の種類(EBMの手順)、国家統計調査
3	保健情報と疫学(2章-1):疫学とは、健康障害の発生要因、疫学の方法論
4	保健情報と疫学(2章-2):疫学の方法論、スクリーニング(疾病と検査との関係)
5	歯科疾患の指数(3章-1):数量化と指数について、指数(う蝕)
6	歯科疾患の指数(3章-2):指数(歯周疾患)
7	歯科疾患の指数(3章-3):指数(口腔清掃状態)
8	歯科疾患の指数(3章-4):指数(不正咬合と歯列不正の指数、歯のフッ素症、その他の歯科保健指標)
9	歯科疾患の指数(3章-5):演習
10	保健情報の分析手順(4章):保健情報の収集、調査、母集団と標本抽出
11	保健統計の方法(5章-1):データの特長、記述統計(代表値、散布度、相関)、推定と信頼区間
12	保健統計の方法(5章-2):検定、保健情報の多変量解析、その他
13	保健統計の方法(5章-3):演習
14	保健情報の分析演習(6章):解析と検定の演習、プレゼンテーション:データの表現
15	情報の保護と倫理(7章):情報社会の特性と問題点、情報の開示、個人情報の保護、インターネットと情報倫理
16	まとめ

### IV 成績評価

定期試験・出席状況・授業態度を総合的に評価する。

### V 教科書

保健情報統計学(医歯薬出版株式会社)

2026年医学アカデミー—歯科衛生士学科

2学年

科目 薬理学

単位・時間数 2単位・32時間

講師 佐藤 慎

担当教員 塚田・遠藤

I 教育目標

一般医療ならびに歯科医療で使用される薬物の作用機序を理解するとともに、薬物の副作用や有害作用、相互作用、薬物動態、取扱い、法律などについて学ぶ。また、各種疾患に使用される薬物を作用機序の観点から系統的に理解し、効果的かつ安全に薬物を使用できる歯科衛生士となるための知識と論理的思考力、判断力を身につける。

II 到達目標

- |                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| (1) 薬物の作用機序を説明できる          | (2) 薬物動態(吸収・分布・代謝・排泄)を説明できる |
| (3) 薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる    | (4) 薬物の作用に影響を与える要因を説明できる    |
| (5) 薬物の副作用、有害作用について説明できる   | (6) 薬物の取扱いについて説明できる         |
| (7) 薬物を規制する主な法律について説明できる   | (8) 末梢神経系に作用する薬物について説明できる   |
| (9) 中枢神経系に作用する薬物について説明できる  | (10) 循環器系に作用する薬物について説明できる   |
| (11) 腎臓に作用する薬物について説明できる    | (12) 呼吸器系に作用する薬物について説明できる   |
| (13) 消化器系に作用する薬物について説明できる  | (14) 血液に作用する薬物について説明できる     |
| (15) 免疫系に作用する薬物について説明できる   | (16) 抗悪性腫瘍薬について説明できる        |
| (17) 代謝性疾患の治療薬について説明できる    | (18) 抗炎症薬について説明できる          |
| (19) 鎮痛薬について説明できる          | (20) 局所麻酔薬について説明できる         |
| (21) 感染症治療薬について説明できる       | (22) 消毒薬について説明できる           |
| (23) 歯科医療で使用される薬物について説明できる |                             |

III 学習内容(シラバス)

1	①薬物動態 ②薬物の適用方法の種類と特徴 ③薬物の作用に影響を与える要因
2	①医薬品を適用する際の注意 ②薬物の取り扱い ③薬物と法律・薬物と医薬品
3	①薬物の作用 ②末梢神経系に作用する薬物
4	中枢神経系に作用する薬物
5	ビタミンとホルモン
6	循環器系に作用する薬物
7	①腎臓に作用する薬物 ②呼吸器系に作用する薬物
8	①消化器系に作用する薬物 ②血液に作用する薬物
9	①免疫と薬 ②悪性腫瘍と薬
10	代謝性疾患治療薬
11	①炎症と薬 ②痛みと薬
12	局所麻酔薬
13	抗感染症薬

14	消毒に使用する薬
15	歯科医療で使用される薬物 I
16	歯科医療で使用される薬物 II

#### IV 成績評価

レポート課題により評価する
---------------

#### V 教科書

薬理学第2版（医歯薬出版株式会社）
-------------------

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 小児歯科

単位・時間数 1単位・16時間

講師 三木崇裕

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

小児の心身の発育・発達のプロセスを理解し、各ステージに応じた歯科予防処置、診療補助、および保健指導ができる能力を養います。また、保護者への適切なアプローチについても学びます。

### II 到達目標

1. 発育の理解： 歯の萌出時期と、顎顔面の発育プロセスを説明できる。
2. 行動受容： 子供の心理的特徴を理解し、TSD法などの行動調整法を選択できる。
3. 予防処置： シーラント、歯冠修復、フッ化物塗布の意義と手順を習得する。
4. 疾患の理解： 小児特有の疾患（低出生体重児の歯、外傷、軟組織疾患）について理解する。  
\* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	小児歯科学の概念：小児歯科の目的、小児の特性と分類・成長・発育(全身)：身体の発育、精神・運動機能の発達
2	成長・発育(口腔)：歯芽の形成、乳歯・永久歯の萌出時期・歯列・咬合の発達：ヘルマンの歯齢、咬合の完成までの変化
3	小児の心理と行動受容：母子分離、行動調整法(TSD、レストetc)・検査・診断：歯齢の判定、う蝕活動性試験
4	小児のう蝕の特徴：輪状う蝕、哺乳瓶う蝕、好発・歯科予防処置①：歯冠修復、小窩裂溝充填(シーラント)
5	歯科予防処置①：歯冠修復、小窩裂溝充填(シーラント・小児の歯内療法：乳歯の解剖学的特徴、断髄・抜髄の術式
6	咬合誘導(保険)：クラウンループ、ディスタルシュー等の装置・小児の外科的疾患・外傷：唇小帯の異常、歯の脱臼・破折への対応
7	小児の外科的疾患・外傷：唇小帯の異常、歯の脱臼・破折への対応・虐待防止と地域保健：児童虐待の早期発見、母子保健事業
8	総括・まとめ：全体の復習と確認テスト

### IV 成績評価

問題数：30問 マークシート形式 合格基準：60点以上を合格点とする

### V 教科書

指定教科書 歯科衛生学シリーズ 医歯薬出版 小児歯科学

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 口腔外科学

単位・時間数 2単位・32時間

講師 富田美穂子

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

顎口腔領域の外科系疾患の原因、病態および治療法の知識を習得する。

### II 到達目標

顎口腔領域の疾患の特徴を説明できる。  
口腔外科系の疾患の原因と病態を説明できる。  
口腔外科系の疾患の治療と予後を説明できる。  
\* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	口腔外科学の概要
2	歯の異常
3	口唇裂・口蓋裂
4	軟組織疾患
5	口腔粘膜疾患
6	炎症
7	嚢胞
8	腫瘍
9	顎関節疾患
10	唾液腺疾患
11	神経系疾患
12	血液疾患
13	歯科診療で問題となる全身疾患
14	口腔外科小手術
15	インプラント手術
16	まとめ

### IV 成績評価

授業態度と定期テストの点数で総合的に判断する。

### V 教科書

口腔外科学・歯科麻酔学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 歯科学・障害者

単位・時間数

1単位16時間

講師 醍醐 一也

担当教員

塚田・遠藤

### I 教育目標

高齢化が進む日本では、今後歯科医院を受診する高齢者の割合が増加すると考えられる。障害の概念及び障害者・高齢者の身体的・心理的状态を理解し、質の高い歯科医療や口腔保健の提供が、障害者・高齢者のQOLの向上や自己実現につながることを学ぶ。また、患者の状態に応じて具体的な対応方法や歯科診療の補助等について概説できる。

### II 到達目標

高齢社会と加齢変化について概説できる。

高齢者の基礎疾患と歯科治療時の注意点、対応方法を説明できる。

障害の概念と基礎的な知識について説明ができ、障害に応じた歯科的な特徴、対応方法を説明できる。

\* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	高齢者歯科学① 高齢社会と加齢変化、高齢者の歯科医療
2	高齢者歯科学② 生活機能を低下させる疾患・兆候
3	高齢者歯科学③ 通院困難者の病態と処置法
4	高齢者歯科学④ 高齢者の摂食嚥下障害と口腔機能低下症への対応
5	障害者歯科学① 障害の概念と基礎知識、障害の種類と歯科的特徴(1)
6	障害者歯科学② 障害の種類と歯科的特徴(2)、障害児者の歯科治療
7	障害者歯科学③ 障害児者に対する口腔衛生管理、障害児者の摂食嚥下障害と口腔機能管理
8	小テスト、解説・まとめ

### IV 成績評価

修講試験(80%)、小テスト(10%)、授業態度(10%)

### V 教科書

歯科衛生学シリーズ 医歯薬出版 高齢者歯科学 障害者歯科学(第2版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 歯科放射線学・歯科麻酔学

単位・時間数 1単位・16時間

講師 富田美穂子

担当教員 富田

### I 教育目標

放射線のメカニズムとレントゲンの撮影方法を理解する。  
歯科領域で必要な麻酔の種類と方法を理解する。

### II 到達目標

レントゲンの撮影方法を説明できる。  
放射線の種類を説明できる。  
局所麻酔の方法と目的を説明できる。  
全身麻酔の方法と麻酔薬の種類を説明できる。  
\* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	放射線の種類
2	レントゲン写真の種類
3	レントゲン写真の撮影方法と特色
4	放射線治療の実際
5	局所麻酔の種類
6	鎮静法の種類
7	全身麻酔の方法
8	まとめ

### IV 成績評価

授業態度と定期テストの点数で総合的に判断する。

### V 教科書

歯科放射線学(医歯薬出版)  
口腔外科学・歯科麻酔学(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科(共通)

2学年

科目 歯科予防処置論Ⅲ

単位・時間数 1単位・16時間

講師 吉本明子

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

歯科予防処置論に必要な知識および技術を習得する。

### II 到達目標

歯科予防処置論の定義を説明し、それに必要な応用知識を習得する。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	う蝕予防処置総論①
2	う蝕予防処置総論②
3	う蝕予防処置各論①
4	う蝕予防処置各論②
5	う蝕予防処置各論③
6	う蝕予防処置各論④
7	う蝕予防処置各論⑤
8	う蝕予防処置各論⑥

### IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題、出席率、提出物

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科(共通)

2学年

科目 歯科予防処置演習Ⅱ

単位・時間数 2単位・64時間

講師 吉本明子

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

歯科予防処置論に必要な知識および技術を習得する。

### II 到達目標

個々の口腔環境に応じて歯科予防処置の判断・技術を習得する。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	患者説明	17	実技試験③
2	口腔内診査	18	実技試験④
3	相互実習①	19	歯科衛生士課程総論①
4	相互実習②	20	歯科衛生士課程総論②
5	相互実習③	21	歯科衛生士課程総論③
6	相互実習④	22	歯科衛生士課程総論④
7	相互実習⑤	23	歯科衛生士課程総論⑤
8	相互実習⑥	24	歯科衛生士課程総論⑥
9	相互実習⑦	25	歯科衛生士課程各論①
10	相互実習⑧	26	歯科衛生士課程各論②
11	相互実習⑨	27	歯科衛生士課程各論③
12	相互実習⑩	28	歯科衛生士課程各論④
13	業務記録①	29	小窩裂溝填塞①
14	業務記録②	30	小窩裂溝填塞②
15	実技試験①	31	まとめ
16	実技試験②	32	まとめ

### IV 成績評価

小テストおよびマークシート問題 実技試験 出席率 提出物

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 歯科保健指導Ⅲ

単位・時間数 1単位・16時間

講師 遠藤美香沙

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

歯科保健指導に必要な知識および技術を習得する。

### II 到達目標

個々の口腔環境に応じて歯科保健指導の判断・技術を習得する。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	
2	ライフステージに対応した歯科衛生士介入(成人期)②
3	ライフステージに対応した歯科衛生士介入(老年期)①
4	ライフステージに対応した歯科衛生士の介入(老年期)②
5	う蝕リスクに対する指導
6	喫煙者に対する指導
7	ドライマウス(口腔乾燥)に対する指導
8	まとめ

### IV 成績評価

定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 歯科診療補助Ⅲ

単位・時間数 2単位・32時間

講師 塚田邦枝

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

歯科保健指導に必要な知識および技術を習得する。

### II 到達目標

個々の口腔環境に応じて歯科保健指導の判断・技術を習得する。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	医療安全管理①
2	医療安全管理②
3	診療補助(矯正)
4	診療補助(保存修復)
5	全身疾患偶発症への対応
6	診療補助(口腔外科)
7	診療補助(保存診療)
8	診療補助(補綴診療)
9	診療補助(高齢歯科)
10	診療補助(障害者歯科)
11	診療補助(口腔外科)①
12	診療補助(口腔外科)②
13	全身疾患・在宅訪問時の歯科診療補助①
14	全身疾患・在宅訪問時の歯科診療補助②
15	まとめ
16	まとめ

### IV 成績評価

定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 歯科保健指導Ⅱ

単位・時間数 1単位・32時間

講師 遠藤美香沙

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

歯科保健指導に必要な知識および技術を習得する。

### II 到達目標

個々の口腔環境に応じて歯科保健指導の判断・技術を習得する。  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	歯周病リスク、口臭に対する指導
2	矯正治療とは
3	電動歯ブラシ①
4	電動歯ブラシ②
5	障害児に対する保険指導
6	臨床の保健指導①
7	臨床の保健指導②
8	面接・問診・コミュニケーション
9	食育①
10	食育②
11	小集団指導法①
12	小集団指導法②
13	情報収集整理法①
14	情報収集整理法②
15	口頭吸引①
16	口頭吸引②

### IV 成績評価

定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 歯科診療補助演習Ⅱ

単位・時間数 1単位・32時間

講師 塚田邦枝

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

診療の補助ができる。

### II 到達目標

診療に必要な器具を理解し、準備・片付け、補助ができる  
\* 歯科衛生士として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	ラバーダム(マネキン)①
2	ラバーダム(マネキン)②
3	ラバーダム(相互実習)①
4	ラバーダム(相互実習)②
5	全身疾患・偶発症への対応①
6	全身疾患・偶発症への対応②
7	診療補助(保存診療)①
8	診療補助(保存診療)②
9	診療補助(補綴診療)①
10	診療補助(補綴診療)②
11	診療補助(高齢歯科)①
12	診療補助(高齢歯科)②
13	診療補助(障害者歯科)①
14	診療補助(障害者歯科)②
15	実技試験(オリエンテーション)
16	実技試験(オリエンテーション)

### IV 成績評価

定期テストで評価する。

### V 教科書

歯科診療補助論(医歯薬出版) 必要に応じて資料配布

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 臨地実習

単位・時間数 12単位・540時間

講師 実習先の担当者

担当教員 吉本・塚田・遠藤

### I 教育目標

口腔保健を担う専門職として必要な知識を身につける。

### II 到達目標

臨床現場の歯科衛生士の役割と理解する。  
患者の問題を総合的に把握し、理解する能力を身につける。  
\* 歯科衛生士や歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1. 医療人としての基本姿勢
  - 1) 身だしなみ、姿勢、言葉使いに気をつけて行動することができる。
  - 2) 実習施設の守秘義務を順守することができる。
  - 3) 患者に対して共感的態度で接することができる。
  - 4) スタッフに対して、感謝と敬意を表すことができる。
  - 5) 実習に積極的に参加し、自ら調べ質問することができる。
2. 学習目標
  - 1) 口腔保健を担う専門職として必要な知識を身に付ける。
  - 2) 歯科衛生士の役割と仕事を理解する。
  - 3) コミュニケーション能力を養う。
3. 学習内容
  - 1) 診療に必要な器具・器材・材料を準備することができる。
  - 2) 診療に必要な器具・器材・材料の性質・用途を述べることができる。
  - 3) 患者への対応を適切に行うことができる。
  - 4) 標準予防策を理解する。
  - 5) 医療廃棄物の取り扱いができる。
  - 6) 処置内容を説明できる。

### IV 成績評価

実習先評価80%、実習レポート等20%

### V 教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯科診療補助論(医歯薬出版)

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 総合講義Ⅱ

単位・時間数 1単位・16時間

講師 富田美穂子

担当教員 富田

### I 教育目標

口腔領域の疾患予防とそれに関わる人間と社会の仕組みを学習する。

### II 到達目標

保健に関連する社会の仕組みを理解するとともに、公衆衛生・地域歯科保健活動の疫学調査に必要な統計方法を理解し説明できる。

\* 歯科医師として10年以上歯科医療に従事している担当教員による授業。

### III 学習内容(シラバス)

1	医療保険の仕組み
2	病名の略語
3	保存治療の流れ
4	補綴治療の流れ
5	口腔外科治療の流れ
6	歯科衛生士と法律
7	医療関係職種
8	まとめ

### IV 成績評価

授業態度と定期テストの点数で総合的に判断する。

### V 教科書

プリントを配布します。

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 総合科目

単位・時間数 2単位・32時間

講師 富田・吉本・塚田・遠藤

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

国家試験に向けての確認をする。

### II 到達目標

外部模試で合格点が取れるように努力する。

### III 学習内容(シラバス)

1	外部模試①
2	外部模試①
3	外部模試①
4	外部模試①
5	外部模試②
6	外部模試②
7	外部模試②
8	外部模試②
9	外部模試③
10	外部模試③
11	外部模試③
12	外部模試③
13	模試解説講義
14	模試解説講義
15	模試解説講義
16	模試解説講義

### IV 成績評価

試験の点数で評価する。

### V 教科書

特になし

## 2026年医学アカデミー—歯科衛生士学科

2学年

科目 選択科目 I (英会話)

単位・時間 1単位・16時間

講師 下西ノ園 美沙紀

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

歯科衛生士が患者との信頼関係に基づく医療サービスを提供するため、および歯科医師やほかの医療職種の人たちと円滑な人間関係を保つために必要な英語表現を実際のコミュニケーションを通し、学習する。

### II 到達目標

歯科衛生士が患者との信頼関係に基づく医療サービスを提供するため、および歯科医師やほかの医療職種の人たちと円滑な人間関係を保つために必要な英語表現を実際のコミュニケーションを通し、修得する。

### III 学習内容(シラバス)

1	Pregnancy
2	Why Do I Need Cleaning?
3	Informed Consent
4	Sealants
5	Fluoride Treatment
6	Tooth Brushing Instructions for a Child / Tooth Brushing Instructions for an Adult
7	Postoperative Instructions to the Patient
8	After treatment / Visit to an American Dental Clinic

### IV 成績評価

出席状況、課題レポートにより評価する

### V 教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科英語(医歯薬出版株式会社)、必要に応じて資料を配布する。

## 2026年医学アカデミー歯科衛生士学科

2学年

科目 選択科目Ⅱ(審美歯科)

単位・時間 1単位・16時間

講師 吉田 蒼唯

担当教員 塚田・遠藤

## I 教育目標

審美予防歯科は、人を綺麗にするだけでなく健康にすることもできると理解する。

## II 到達目標

歯科衛生士として、相手は何を求めているのか？その為に自分に必要なことは何か？を理解する。  
そしてこの授業を通して、歯科衛生士は病気の人を治すだけでなく、楽しく歯科に通っていただき、人を笑顔や健康にできる仕事であることを理解する。

## III 学習内容(シラバス)

1	コミュニケーション・接遇(講義)
2	コミュニケーション・接遇(講義)
3	ホワイトニング知識(講義)
4	ホワイトニング知識(講義)
5	ホワイトニング(模型実習)
6	ホワイトニング(相互実習)
7	ホワイトニング(相互実習)
8	試験・リップエステ実習

## IV 成績評価

20点:出席点 / 80点:試験点数

## V 教科書

特になし

## 2026年医学アカデミー—歯科衛生士学科

2学年

科目 選択科目Ⅱ(金融・投資)

単位・時間数 1単位・16時間

講師 峯一貴

担当教員 塚田・遠藤

### I 教育目標

マクロ経済学や地政学に触れながら「投資」の本質を学び、人生100年時代を生き抜くマネーリテラシーを身につける。

### II 到達目標

金融・投資の基礎知識を習得し、投資行動を実践的に考えられるようになる。

### III 学習内容(シラバス)

1	オカネの役割 ・講義概要・貨幣論・為替
2	デフレとインフレ ・物価・貨幣価値・有価証券
3	借金の正体 ・債券・税金
4	資産管理の考え方 ・年金・投資
5	有価証券投資① ・マーケット基礎用語・金融商品
6	有価証券投資② ・複利シミュレーション
7	銘柄選定① ・ファンダメンタルズ分析・チャート分析
8	銘柄選定② ・投資シミュレーション

### IV 成績評価

※選択科目Ⅲはレポートで評価する。

### V 教科書

なし(授業スライドの板書)